

2019年度 教養科目 カリキュラムマップ

到達指標

- [知識・理解] 専門分野を学ぶ基盤となる知識及び社会人に共通して求められる社会変化への対応と地域に貢献していくための基本的知識についての理解。
- [思考・判断・表現] 人間の在り方や生き方、文化や社会、環境などの理解に必要で、専門分野を学ぶための基本ともなる思考力や判断力、表現力。
- [技能] 専門分野を学ぶ基盤となる学問的な技能や知的技法及び社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能。
- [関心・意欲・態度] 教養について学ぶことを将来の社会的役割と結びつけてとらえ、学修への関心と意欲を持って、主体的に取り組んでいこうとする態度。

分類	学期	科目名	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度
教養基礎	人文	外国語コミュニケーション I (英語)	◎	◎	◎	—
		国語表現 ※2開講	◎	◎	○	○/△
	社会	外国語コミュニケーション II A (ポルトガル語)	◎	○	○	○
		心理学	◎	○	△	○
	自然	日本国憲法	◎	◎	—	△
		女性学	◎	◎	△	○
	総合	地域の歴史と文化	◎	○	△	○
		前期	○	○	○	○
	社会人	生活環境論	○	○	○	○
		基礎生物	○	○	○	○
	基礎人	後期	○	○	—	○
		くらしの科学(物理・化学)	○	○	—	○
		音楽療法入門	○	○	—	○
		スポーツ演習 I	○	○	◎	○
		体育 I	○	○	○	○
		体育 II	○	○	○	○
		後期	○	○	○	○
		子育て入門	○	○	○	○
		美術入門	○	○	—	○
		スポーツ演習 II	○	○	◎	○

(授業の到達目標が、教養科目における到達指標達成と結びつきが◎:非常に強い、○:強い、△:やや強いことを表す。)

教養教育の学科目標

[幼児教育学科]

将来の保育者として子どもを理解し、総合的な視点から現代の諸課題に対応するため、専門科目を究める自律的な学修態度やコミュニケーション能力を身につける。

[音楽総合学科]

音楽に関する専門科目の学修を充実させるための、これにつながる基本としての学問的な知識や技能を身につける。

[デザイン美術学科]

知識欲、思惟、感性を刺激し、美術表現を一層豊かにするとともに、社会生活の基盤となる問題解決能力、コミュニケーション能力を身につける。

[歯科衛生学科]

医療・保健・福祉分野で活躍する医療人となるための、専門性に繋がる基本的知識・技能、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力、社会的行動様式を身につける。

[看護学科]

多様化する高度医療や地域・在宅看護に対応できるための基盤となる豊かな人間性とコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける。